

日野橋架け替え事業及び 旧橋撤去工事について



令和7年10月

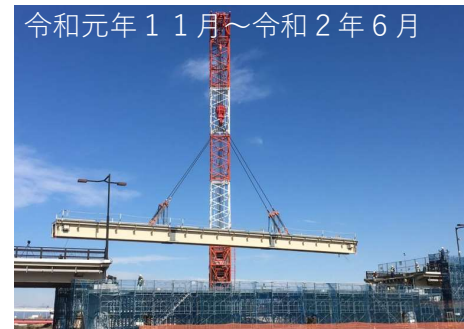
東京都南多摩西部建設事務所

日野橋の架け替え事業に関わる主な経緯



日野橋しゅん功
大正期の三大鋼桁橋の1橋

令和元年11月～令和2年6月



応急復旧工事实施

令和元年10月



令和元年台風第19号に伴う
多摩川の出水により橋脚が沈下

令和2年11月 架け替え事業着手



仮橋及び取付道路部の工事实施

令和7年5月



交通を仮橋へ切替え

問い合わせ先

東京都南多摩西部建設事務所工事課

〒192-0046 東京都八王子市明神町3-19-2

○旧橋撤去工事に関すること 工事担当 電話 042-649-5877

○事業全体に関すること 道路設計担当 電話 042-643-2651

日野橋架け替えの必要性

日野橋は一般都道八王子国立線（第256号）の多摩川を渡河する橋梁であり、多摩地域の連携強化に資するとともに、災害時の第一次緊急輸送道路となっていますが、大正15年の完成後、約100年が経過し老朽化が進んでいます。

平成23年9月には、台風による出水のため、洗掘※1防止対策として設置していた護床ブロック※2が広範囲にわたって流出し橋脚の基礎が不安定化する被害が発生しました（写真1）。この被害等を踏まえ、新しい橋に架け替える方針を決定しました。



写真1 橋脚の基礎が突出状態となった時の状況

また、令和元年10月の台風第19号においても、橋脚1基が洗堀により沈下し、路面に大きな段差が生じたため、復旧まで約7か月間通行止めとなりました。

こうした近年の出水による被害状況を踏まえると、老朽化が進行している日野橋を一刻も早く架け替え、長期的な安全性を確保していく必要があります。

以上のことから、架け替え事業を前倒して令和2年11月に着手し、令和7年5月に交通を仮橋へ切替えました。新橋設置工事の早期着手に向け、令和7年11月より旧橋撤去工事に着手します。

※1 洗掘：激しい川の流れなどにより、川底の土砂が削り取られる現象

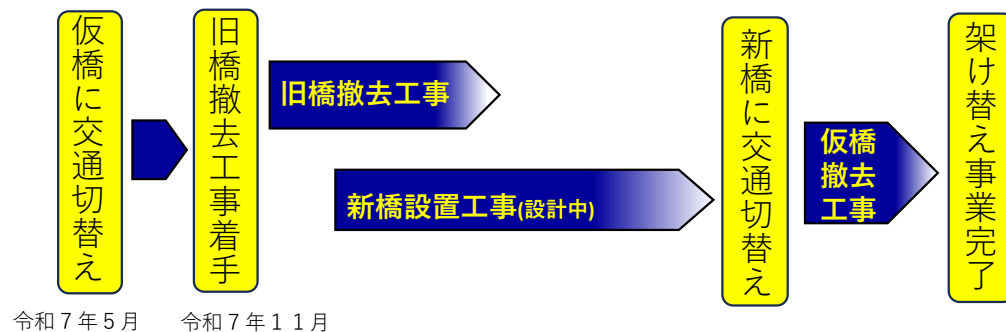
※2 護床ブロック：洗掘を防止するために橋脚や橋台の上下流の川底などに設置する構造物

旧橋撤去工事の概要

- 河川内の工事は雨の少ない時期(11月～翌年5月)に行います。
- 河川内の工事が実施できる期間が1年のうち限られること、旧橋の橋脚が18基あること等により、複数年にまたがって撤去工事を進めていく予定です。
- 令和7年11月から令和8年5月までに予定している工事では左岸側と右岸側の工区に分けて施工を行います。
- 工事が進むと、橋脚が少なくなるため、川の流れが良くなります。
(旧橋：18橋脚 ⇒ 仮橋：6橋脚 ⇒ 新橋：2橋脚)

今後の事業スケジュール

- 旧橋の撤去が進むと、新橋設置工事も並行して進めていく予定です。
- 長期間の事業となりますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。



凡例：■ 令和7年11月から令和8年5月までの撤去工事予定箇所

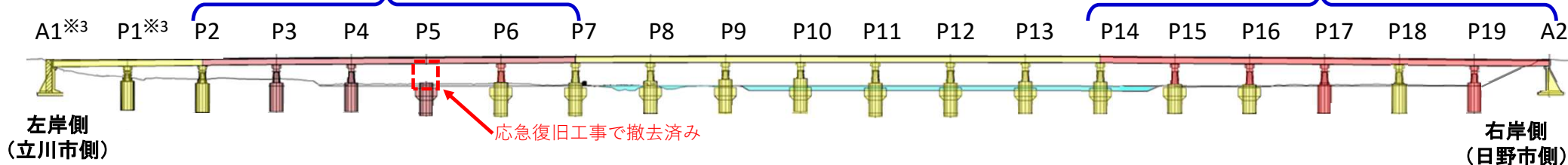
■ 令和8年11月以降の撤去工事予定箇所

日野橋旧橋撤去工事

【旧橋概要】

橋長：367.3m 径間数：19径間 橋脚数：18基

日野橋旧橋撤去工事(その2)



※3 A1について「A」はAbutment(橋台)の頭文字で立川市側から1基目の橋台を、P1について「P」はPier(橋脚)の頭文字で、立川市側から1基目の橋脚を示す。

図 旧橋撤去箇所模式図